

事業評価票

334	高齢者の雇用就業支援事業 (産業労働局雇用就業部／一般会計)	事業開始	平成 8 年度
		事業終期	平成 37 年度

【局評価】

1	どのような経緯で事業を始めたか、何をを目指すのか
<p>○ 働く意欲と能力のある高齢者が生き生きと働くことの出来る社会の実現に向けて、しごとセンターにおいて高齢者就業に関する総合的なサービスを提供し、高齢者の就業促進を図ってきた。</p> <p>○ 労働力人口の長期的減少が見込まれている中で、企業の人手不足が深刻化している。これに対応すべく、国が策定した「ニッポン一億総活躍プラン」においても高齢者の就労促進を行うべき旨が述べられるなど、高齢者の活用がこれまで以上に重要になっている。</p>	
根拠法令等	

2	どのように取り組み、どのような成果があったか
<p>○ しごとセンターにおいて人材開発コースによる能力開発やライフプランセミナー等を実施し、高齢者向け相談事業も含めて、高齢者の雇用就業に関する総合的なワンストップサービスを提供した。</p> <p>【平成27年度実績例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業向け人材開発コース 定員498名、修了者数312名 うち就職者数256名 ・ 中小企業向けエキスパート人材開発プログラム 定員100名、修了者数81名 うち就職者数60名 ・ 就業支援総合セミナー 定員500名、受講者689名 うち個別相談50名 	

3	どのような課題や問題点があったか
<p>○ 都内のハローワークにおける65歳以上の高齢者の就業率は他の年齢層に比べて非常に低い水準で推移しており、多くの高齢者が滞留している。</p> <p>○ また、金銭的な理由などから就業を希望しながら一定の理由で就職活動を行っていない、潜在的な高齢求職者も数多く存在する。</p> <p>○ 就職市場に滞留している高齢求職者のミスマッチ解消や潜在的な高齢求職者の掘り起しを通じて高齢者の就労を促進するため、さらに取組を強化する必要がある。</p>	

4	局として、事業をどうしていきたいか															
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px;">拡大・充実</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見直し・再構築</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移管・終了</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">その他</td> </tr> </table>		拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他											
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他													
<p>○ 新たな事業において、マインドチェンジやキャリアチェンジに向けたセミナーを、都内各地域のハローワークとの連携により都内全域で実施する。</p> <p>○ 加えて、しごとセンターにおいて、中小企業向け人材開発コースや中小企業向けエキスパート人材開発プログラム等コースの増設や受講要件の拡大等により、マインドチェンジやキャリアチェンジの機会をより多く提供する。</p>																
歳入	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">27年度決算額</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">— 千円</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">27年度決算額</td> <td style="width: 20%; text-align: right;">54,499 千円</td> </tr> <tr> <td>28年度予算額</td> <td style="text-align: center;">— 千円</td> <td style="text-align: center;">歳出</td> <td>28年度予算額</td> <td style="text-align: right;">54,712 千円</td> </tr> <tr> <td>29年度見積額</td> <td style="text-align: center;">— 千円</td> <td></td> <td>29年度見積額</td> <td style="text-align: right;">143,622 千円</td> </tr> </table>	27年度決算額	— 千円		27年度決算額	54,499 千円	28年度予算額	— 千円	歳出	28年度予算額	54,712 千円	29年度見積額	— 千円		29年度見積額	143,622 千円
27年度決算額	— 千円		27年度決算額	54,499 千円												
28年度予算額	— 千円	歳出	28年度予算額	54,712 千円												
29年度見積額	— 千円		29年度見積額	143,622 千円												

【財務局評価】

5	財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか
<p>○ 求職者自身がこれまでの経験や業種、勤務条件にこだわり、ミスマッチングを起こしているため、マインドチェンジやキャリアチェンジへの誘導が必要である。</p> <p>○ 高齢者のマインドチェンジ等を促し就職に結びつけるため、既存事業を再構築し、ハローワークと連携したセミナー実施などに取り組むことは妥当である。</p>	

6	29年度予算で、どのように対応したか				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px;">拡大・充実</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見直し・再構築</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">移管・終了</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">その他</td> </tr> </table>		拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他		
<p>○ 経費の精査を行った上で、所要額を計上する。</p>					
歳入	29年度予算額	— 千円			
歳出	29年度予算額	82,566 千円			